



日本ハネウェル株式会社

Honeywell

THE POWER OF **CONNECTED**

ハネウェルは、物理的なモノの世界とデジタルの世界を「つなげる」ソリューションで、
ビジネスや社会が抱える困難な課題の解決をお手伝いします
「コネクテッド = つながる」力のエキスパートとして、携帯機器によるつながりを超えた、
街・航空機・工場の運営や作業員の安全を守る「つながり」を創造します

THAT'S THE POWER OF CONNECTED. THAT'S THE POWER OF HONEYWELL.

コネクテッド・エアクラフト | コネクテッド・ビルディング | コネクテッド・プラント
コネクテッド・ユーティリティ | コネクテッド・サプライチェーン | コネクテッド・ワーカー

ごあいさつ



ハネウェルは、フォーチュン100社にノミネートされた、テクノロジーおよび製造分野におけるトップレベルの複合企業であり、航空宇宙・自動車分野の製品およびサービス、ビル・産業向け制御テクノロジー、パフォーマンスマテリアルズなどを世界中のお客様に提供しています。テクノロジーの力で航空機から車両からビル、工場から物流、そして作業員まで、あらゆるものを「つなぎ」、よりスマートで、より安全で、より持続可能な世界を目指し、日々事業活動を行なっています。

あらゆるもののデジタル化が進むなか、当社はソフトウェアを成長戦略に位置づけ、高度なモノの技術と先進ソフトウェア技術の融合に取り組んでいます。当社のソフトウェア開発能力と技術は、全世界のすべての事業において CMMI®（能力成熟度モデル統合）最高の成熟度であるレベル5を達成しています。こうした実績を背景に、IoT（モノのインターネット）の分野においても、競争力と効率性に長けたソリューションをご提供します。

国内の事業活動も60年余りとなります。お客様との信頼関係に支えられ、現在では、セールス、マーケティング、製造、サービスに携わる約230名の従業員が一丸となり、オートメーション、構成部品、素材、そして高いセキュリティ性を誇る産業IoT・ビッグデータまで幅広い製品を日本のお客様にお届けしています。

国内ではエネルギー効率化、「つなげる」接続性、そして環境や持続可能性への関心がますます高まりを見せるなか、当社は今後も、お客様と共に成長を目指し、革新的で環境効率性高い技術とソリューションをお届けしてまいります。

ハネウェルは、日本のお客様の長きにわたる信頼に値するテクノロジーで、よりクリーンで、より持続可能で、より安全で「つなげる」、エネルギー効率性と生産性に優れた世界を目指します。そして、より良い暮らしと環境を実現するソリューションを通じて、お客様の成功に貢献してまいります。

日本ハネウェル株式会社
代表取締役社長
西巻 宏

魅力ある分野・業界を支える技術力

エネルギー効率化と クリーンエネルギーの生成

エネルギー、安全性、生産性や
世界の都市化など
世界が直面する重要な課題を
解決する技術を発明し、製造しています



エアートラフィック
モダナイゼーション



バイオ燃料



グリーン建築



低GWP
(地球温暖化係数) 冷媒



クリーン電力 & 燃料



産業プロセス
効率化



デマンドレスポンス
& スマートグリッド



EPC (エネルギー効率化
パフォーマンス契約)



セキュリティ &
防災システム



産業プロセス & 安全



ガス監視 & 検知



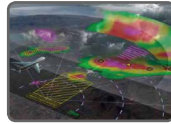
クラウドベース通知・
緊急メッセージ



サイバー
セキュリティ



安全保護具



Intuvue™ 3D
気象レーダー
災害&回避システム



Spectra® 繊維

安全とセキュリティ

災害やリスクの拡大を防ぐ
機器・装備や技術と
さまざまな脅威に備えた
セキュリティソリューションを
提供します

世界の「一人当たりの豊かさ」 の追求

世界中のインフラ成長を支え、
人々の暮らしの質を向上する
ソリューション開発に努めています



エアートラフィック
マネージメント



石油精製技術



エアポート
ソリューション



インドア
エアークオリティ



スマートグリッド



健康と安全



インフラ向け
ソリューション



石油化学技術



機内での生産性



産業向けスキャナ、
モバイル端末



音声制御



流通業向け
スキャナ/プリンタ



OneWireless™
モバイル制御室



コックピットシステム



物流倉庫
コネクティビティ



ワイヤレスセンサ

作業生産性

作業環境をより良く、
よりスピーディーに、
そしてより効率化するための
ソリューションを
お届けします

事業概要

先進のソフトウェア技術 - 成長戦略:モノとソフトウェアを融合するソフトウェア技術企業へ、あらゆる事業でソフトウェア技術の展開による成長戦略を掲げており、エンジニア22,000のうち半数がソフトウェアに従事しています。

4つの戦略事業部 (SBG)

エアロスペース

ガスタービンエンジン、機内空調・与圧・熱制御システム、コクピットシステム、アビオニクス、衛星通信システム、ホイール&ブレーキなど、革新のメカニカル・デジタル技術を集約した幅広い航空宇宙向け製品とソリューションは、世界のあらゆる民間航空機、防衛航空機への搭載実績を誇ります。



- 機内空調・与圧&熱制御システム
- ナビゲーションシステム&センサ
- コクピット&フライト制御システム
- エンジン&補助動力システム
- コネクティビティシステム&コネクテッド・エアクラフトソリューション
- ランウェイ&フライトセーフティテクノロジー
- ソリューションマネジメント&ロジスティックサポート
- ホイール&ブレーキシステム
- メカニカルコンポーネント
- 衛星用機器・姿勢制御システム

パフォーマンス マテリアルズ & テクノロジーズ (PMT)

高機能化学品、プロセス技術、産業向けオートメーションの世界リーダーであるPMTは、低GWP (地球温暖化係数) 冷媒、プロセス産業向けオートメーション&ソフトウェアや、石油精製、石油化学、ガスプロセス産業向けにプロセス技術を提供しています。



- 高機能繊維&コンポジット
- 低GWP (地球温暖化係数) 冷媒
- 化学品&電子材料
- 石油&ガスプロセス技術、装置、触媒、サービス
- コネクテッド・プラント「つながる工場」ソフトウェア
- スマートエネルギー
- 産業オートメーション&制御、プロセス・運転・操業最適化ソリューション、サイバーセキュリティ
- 特殊フィルム&添加剤

ハネウェル ビルディング テクノロジーズ (HBT)

ビルをよりスマートに、より機能的にする製品、ソフトウェアや技術を提供しています。HBTのビルディングオートメーション技術は、世界1千万件のビルで採用されています。



- ビル用快適空調制御システム
- 遠隔医療システム
- 火災報知システム
- スマートシティ向けコマンド&制御システム
- 空気&水浄化システム

セーフティ & プロダクティビティ ソリューションズ (SPS)

センサ、スキャナ、モバイル端末、データを活用した包括的なソフトウェアおよびコネクティビティソリューションや、作業者の安全を守る安全保護具や機器は、安全性と効率性に優れた業務環境と、より良い事業運営を可能にします。業界をリードする業務用モバイル機器、ソフトウェア、クラウド技術、オートメーション、安全保護具、ガス検知器など幅広い製品・ソリューションをお届けしています。



- オートメーション&マテハン
- 産業 / 消防向け安全保護具
- 作業用、レジャー & アウトドア用フットウェア
- データ収集用プリンタ、スキャナ、モバイル端末
- ガス監視・検知技術
- ワークフローソフトウェア& モバイルクラウド技術
- センサ、スイッチ、スキャンエンジンソフト

ハネウェル概要

グローバル本社 : 米国ニュージャージー州モリスプレーンズ
代表 : 会長兼CEO ダリウス・アダムチック
事業展開 : 世界約1,300 拠点
従業員数 : 約131,000名
(うち技術者約22,000名、約50%はソフトウェアに従事)
上場市場 : ニューヨーク証券取引所(NYSE: HON)
フォーチュン100 (米国企業総収入上位100) 企業

2017年実績:

総売上高 : 405 億ドル
事業部別売上高 :
エアロスペース 148億ドル HBT 96億ドル
PMT 103億ドル SPS 56億ドル

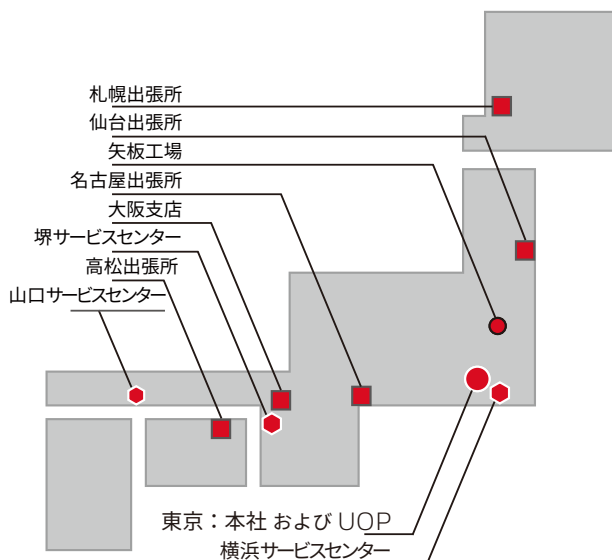
日本ハネウェルについて

60年を超える歴史

ハネウェルの日本における歴史は、国内計装技術導入の黎明期である1900年代初期に始まりました。1953年には国内拠点となる山武計器（株）（現アズビル（株））との合併事業を設立し、以降、オートメーション産業の発展に寄与するとともに、国内産業の成長を見据えた事業の変革と拡大を進めてまいりました。

国内拠点設立から60年を経た現在、日本ハネウェルは、航空機向け、ビルおよび産業用制御や高機能化学品など、各産業に特化したニーズに応える製品・ソリューションやサービスをお届けしています。航空機、ビル、工場、物流、作業者など、あらゆるヒトやものをテクノロジーの力で「つなぐ」ことで、よりスマートで、より安全で、より持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

日本ハネウェルは、これまで培ってきた産業に特化したモノの技術とソフトウェア技術で、今後もお客様の個別ニーズに合った技術ソリューションを提供してまいります。



沿革



会社概要

社名	日本ハネウェル株式会社 Honeywell Japan Ltd.	役員	代表取締役社長 西巻 宏 取締役 後藤 浩之 取締役 チャン・シャンピエン 取締役 ジャン・ハイタン 監査役 増井 千世
設立 資本金	2004年4月19日 10,000千円	従業員数	230名
出資者及び 出資比率	ハネウェル ノースアトランティック ホールディングス リミテッド (100%)	取引金融機関	三菱東京UFJ銀行本店 三井住友銀行本店 ドイツ銀行東京支店
代表	代表取締役 西巻 宏	決算期	12月（年1回）
本社所在地	〒105-0022 東京都港区海岸 1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー 20F	グループ会社	UOP 株式会社
ウェブサイト	www.honeywell.com/worldwide/ja-jp		

コーポレート・シティズンシップ

ホームタウン・ソリューションズ



ハネウェルの社会貢献部門であるハネウェル・ホームタウン・ソリューションズは、科学・数学教育、家族の安全・セキュリティ、住居・住生活、環境・保護、人道支援の5つの重要な領域で貢献活動を行っています。

持続可能性



ハネウェルは、優れた生産性と品質を可能にする技術とソリューションを提供し、持続可能な社会を目指します。

インテグリティ（誠実さ）とコンプライアンス



ハネウェルは、皆様に信頼され、成長を続ける企業であり続けるため、事業全体において最高水準の企業倫理と企業社会責任を実践しています。

ダイバーシティ（多様性）



ハネウェルは、多様性を尊重し、異なる考え・バックグラウンドや経験に常に敬意を払い、理解と感謝の意を持って活動しています。

持続可能性

ハネウェルは、全世界での事業活動における衛生・労働安全・環境への取り組みの一環として、持続可能性方針を実践しています。コンプライアンスを遵守し、人、地域社会と環境をまもり、持続可能な成長と生産性の向上への貢献を続けることで、世界をより持続可能にする技術をお届けしています。

より環境に優しく、より安全で持続可能な事業活動を行うため、常に効率性の向上と責任ある行動に努めています。

環境への取り組み：2004～2017年までの間に温室効果ガスの排出を65%以上削減しました。これまでに2回実施した環境中長期改善計画にて、いずれも目標を上回る改善を達成しました。現在は3回目の改善目標として、2019年までに、対2013年の売上増加分につき、1ドルあたりプラス10%の温室効果ガス排出削減に取り組んでいます。

エネルギー効率性についても、2010年からビルディングオートメーション／制御、照明機器や機械など、3,600件以上の効率化プロジェクトを立ち上げこれらをアップグレードしました。2004～2017年までの間にエネルギー効率性を約60%改善しました。

また、水資源についても、世界資源研究所（WRI）が指定した「水ストレス*」地域にて戦略的な節水プロジェクトを行なっています。ハネウェルは2011年以降、水ストレス地域で130件を超える節水プロジェクトを実施し、1億2000万ガロン（4.5億ℓ）以上の水資源を節約しました。

その他、ハネウェルでは毎年、各事業部ごとに有害廃棄物と埋立ごみの削減目標を立て、全社で廃棄物の削減に努めています。

社会貢献活動 - ハネウェル・ホームタウン・ソリューションズ



ハネウェルは、地域社会の一員として、積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。日本でも、2011年の東日本大震災の際、がれき除去作業にお役立ていただける安全手袋や防護服に加え、救助・探索活動に必要な超小型無人飛行機の提供を通じて災害支援を行いました。

そして、2013年6月には、岩手県大船渡市に、被災地のお年寄りが集い若い世代と交流を持つ場となる「ハネウェル居場所ハウス」の設立をサポート。復興・再建が進む現在も、地元団体およびボランティアにより運営されており、地域住民を迎え入れ、集い、また絆を築く場として活用されています。

これまでの歩み

温室効果ガス
2004～2017年で
65%以上削減

エネルギー効率性
2004～2017年で
約**60%改善**

水ストレス*に
直面する地域で
**1億2000万ガロン
(4.5億ℓ) 節水**

*水ストレス：1人当たり年間使用可能水量が1700トンを下回り、日常生活に不便を感じる状態。



ハネウェル居場所ハウス
岩手県大船渡市



「かまど体験イベント」にて居場所ハウス運営メンバー、地元ボランティアの皆様とハネウェルジャパン社員
(2014年10月)

拠点・お問い合わせ先

日本ハネウェル株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー 20F & 21F (受付: 20F)

ビジネスや製品に関するお問い合わせ先: Web.Japan@honeywell.com

報道機関のお問い合わせ先: Japan.Communications@honeywell.com

エアロスペース事業部

エアロスペース

Tel: 03-6730-7101 Fax: 03-6730-7227



SmartView™
シンセティックビジョン
システム(SVS)



JETWAVE™
高速衛星通信システム
(Ka Band SATCOM)

パフォーマンス マテリアルズ & テクノロジーズ (PMT) 事業部

HPS - プロセス・ソリューションズ

紙パルプ、エネルギー&ケミカル Tel: 03-6730-7140 Fax: 03-6730-7228
アドバンスド ソリューションズ Tel: 03-6730-7220 Fax: 03-6730-7228
ハネウェル・サーマル・ソリューションズ Tel: 03-6730-7187 Fax: 03-6730-7224
コネクティッド・プラント、サイバーセキュリティ
Tel: 03-6730-7140 Fax: 03-6730-7228



Experion® Orion
コンソール



Aclar® 医薬品用
包装フィルム



ソルスティス
低地球温暖化係数
(GWP)ソリューション

AM - アドバンスド・マテリアル Tel: 03-6730-7106 Fax: 03-6730-7221

ホーム & ビルディング テクノロジーズ (HBT) 事業部

ハネウェル ビルディングテクノロジーズ

Tel: 03-6730-7173 Fax: 03-6730-7224



WEBsシリーズ
ビルディングオートメーション
システム(BAS)



セキュリティ
映像システム

セーフティ & プロダクティビティ ソリューションズ (SPS) 事業部

ハネウェル・インダストリアル・セーフティ Tel: 03-6730-7237 Fax: 03-6730-7224
ハネウェル・アナリティクス・ユニット Tel: 03-6730-7320 Fax: 03-6730-7224
センシング & IoT Tel: 03-6730-7152 Fax: 03-6730-7224
プロダクティビティ・プロダクツ Tel: 03-6730-7344 Fax: 03-6730-7224
ワークフローソリューションズ Tel: 03-6730-7344 Fax: 03-6730-7224



安全保護具
ガス検知器



バーコード/
QRコードスキャナ



TruStability
圧力センサ

支店・出張所・サービスセンター

大阪支店

〒541-0052

大阪府大阪市中央区安土町1-6-14 朝日生命辰野ビル6F

出張所

札幌出張所(HPS)

〒003-0003

北海道札幌市白石区東札幌3条6丁目1-20 第一生命ビル2階

名古屋出張所(HPS)

〒507-0033

岐阜県多治見市本町2-35-3 ラコービル402

仙台出張所 (HPS)

〒980-0804

宮城県仙台市青葉区大町1丁目1-8 第三青葉ビル 6階

高松出張所(HPS)

〒760-0018

香川県高松市天神前10-12 香川天神前ビル3F

サービスセンター

横浜サービスセンター (HPS)

〒244-0805
神奈川県横浜市戸塚区川上町87-1 ウェルストン1ビル1F

山口サービスセンター (HPS)

〒745-0034
山口県周南市御幸通1-11 新興ビル3F

堺サービスセンター (HPS)

〒595-0055
大阪府泉大津市なぎさ町6-1
堺泉北港ポートサービスセンタービル401

グループ会社

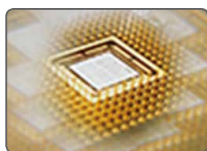


UOP株式会社

(PMT事業部)
〒105-0022
東京都港区海岸 1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワー 21F (受付: 20F)
Tel: 03-6730-7490 Fax: 03-3436-1655

主要取扱製品: プロセスプラント (Polybed™ PSA・Polysep™ Membrane)、
ガス処理プロセスライセンス、
プロセス機器 (蒸留トレー・熱交換器チューブ)

工場



矢板工場

(PMT事業部 - アドバンスド・マテリアル)
〒329-1574
栃木県矢板市乙畑1752-1
Tel: 03-6730-7501 Fax: 0287-48-8312

主要製品 : 半導体向け電子材料
取得済認証: ISO 9001:2008

Honeywell International Inc.は、本書に記載されている情報が正確で信頼性のあるものと確信していますが、明示的または黙示的にかかわらずこれら情報の提供はいかなる保証または責任も伴わず、またHoneywell International Inc.が表明、保証するものではありません。すべての製品の性能は、他の原材料、用途、配合、環境的要素や製造条件などのユーザー条件における使用下で影響を受ける場合があるため、製品の製造や使用にあたってはユーザーがこれら全てを考慮する必要があります。ユーザーは、本書に当該製品の正確な評価データが掲載されていると仮定すべきではありません。本書に記載された情報は、ユーザー自身による独自の試験や実験責任を回避するものではなく、製品および/または本書に記載された情報の使用に際してユーザーはあらゆるリスクおよび責任（結果、特許侵害、法規制準拠、労働安全衛生・環境に対するリスクを含むが、それに限定されない）を想定するものとします。

日本ハネウェル株式会社

Honeywell Japan Ltd.

〒105-0022
東京都港区海岸1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワー 20F

www.honeywell.com/worldwide/ja-jp

September 2018
© 2018 Honeywell Japan Ltd. All Rights Reserved.

Honeywell